

平 30 年度 第 2 回診断評価等基準委員会 議事録

開催日時：平成 30 年 10 月 27 日（土） 7：00～8：00

開催場所：オークラアクトシティホテル浜松 3 階 桜

出席者：川上 守（担当理事）、紺野慎一（委員長）、金森昌彦、金山雅弘、寒竹 司、

佐藤公昭、関口美穂、橋爪 洋、福井 充、和田英路

欠席者：細野 昇、竹内大作

報告事項

1. JOABPEQ の使用申請

川上担当理事・紺野委員長において学術目的の使用であるか否かを審議した結果、

1) 非会員（QOL 評価として用いたい）の使用は不可とした。

2) 計算式と欠損値の問い合わせの 1 件へ対応した。

3) アイクロスジャパン、理学療法士（長崎労災）は学術目的であることから使用を許可とした。

2. JOABPEQ、JOACMEQ のアプリのバージョンアップ

70 万円程度の見積もりであり、変更ごとに追加の資金が要求される可能性があり、今

まで通りとする。アップル社のシステムアップは確認済みで、現在使用可能となっている。

議題

1. プロジェクト研究進行状況について

「腰椎変性側弯症の健康関連 QOL 低下に及ぼす X 線学的 (脊柱変形) パラメータを検討する多施設横断研究」(担当: 竹内委員)

継続審議

「腰椎変性すべり症に対する手術治療法の有用性に対する JOABPEQ を用いた多施設前向き研究」(担当: 寒竹委員)

資料により解析結果と今後の検討事項について説明があった。本研究は、重要な研究であるので継続をしていただく。(継続審議)

2. JOABPEQ、JOACMEQ 偏差得点の開発の進捗状況について

福井委員より、現在も進捗中であることが報告された。

3. プロジェクト研究 (JOA も含めて) のデータを蓄積して再利用する件について

既存試料の使用として申請しアプトアウトで利用できるかどうかの確認が必要である。

確認されるまで、保留とする。

4. 新しい診断・評価ツールの開発と新規プロジェクト研究

- ◇ 学会主導研究ではなく多施設共同研究に該当するため、日本脊椎脊髄病学会の倫理審査対象外である。
- ◇ 研究プロトコル(資料3)の内容で、各施設での倫理申請を行う(研究者名、役割分担等については、施設の基準に沿って作成していただく)
- ◇ 参考資料として、福島県立医科大学の申請書類と承認通知書を送付する。
- ◇ 各施設で倫理申請が完了した段階で、随時対象者の集積を開始していただく。
- ◇ データの流れ：紙媒体データは、福島県立医科大学へ送付(各施設) データ入力(福島県立医科大学) 電子データを福井先生へ送付

5. その他

次回委員会は日本脊椎脊髄病学会(会期 H31 年 4 月 19 - 20 日横浜)に合わせて開催する。